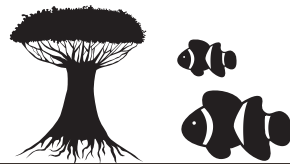


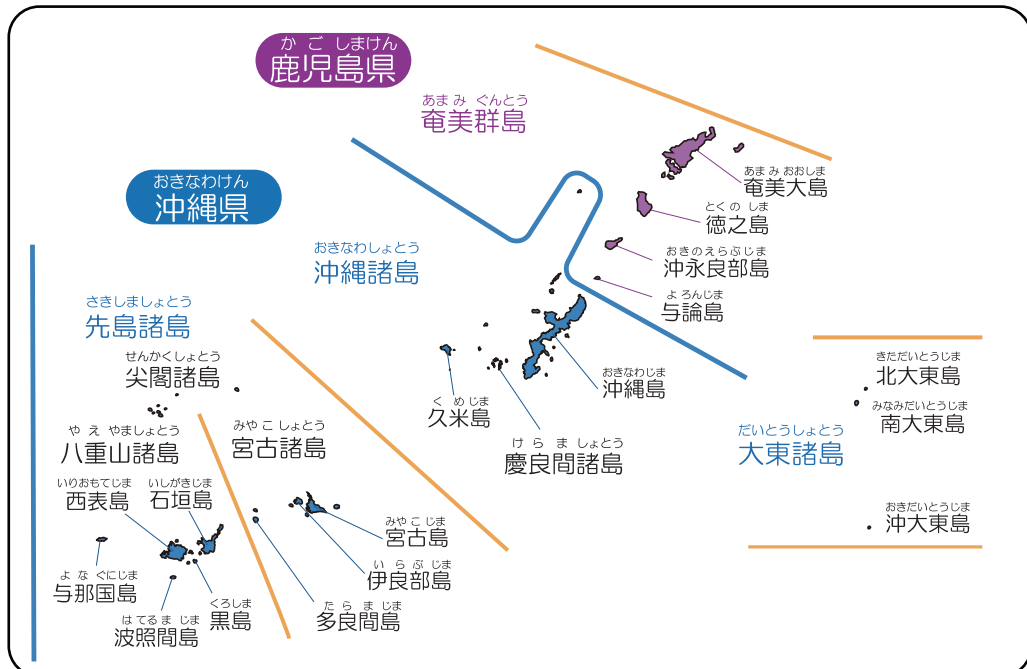
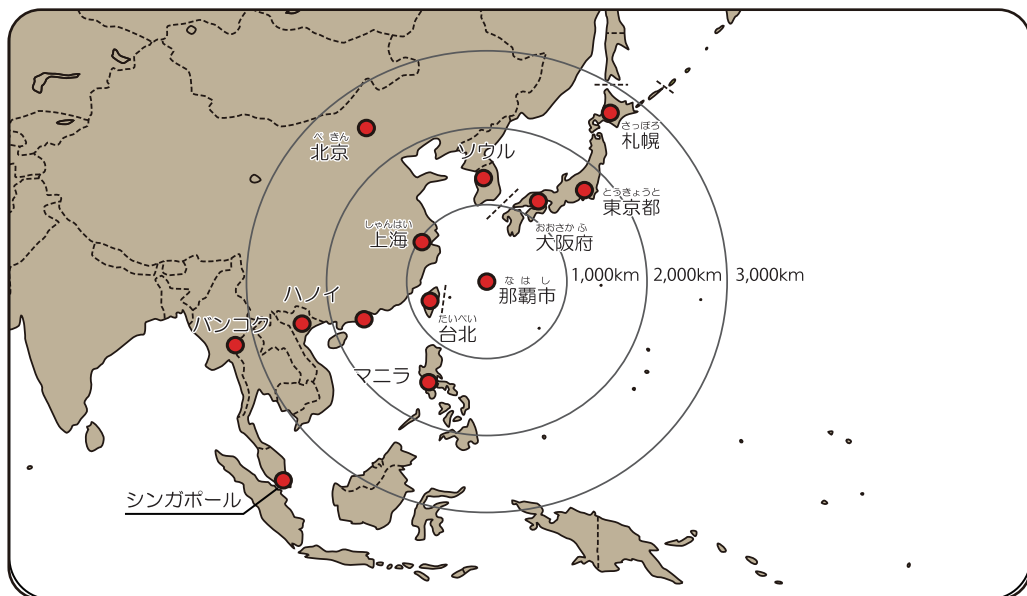


おきなわの自然・環境を知ろう



おきなわ 沖縄はどこにある？

わたし す おきなわけん とうきょうと やく はな おきなわけん いちばんにしがわ
 私たちの住む沖縄県は、東京都から約 1,550km も離れていますが、沖縄県の一番西側
 しま よなくにしま たいわん やく ちか おきなわけん だいしやう しまじま
 の島、与那国島から台湾までは約 100km の近さです。沖縄県には大小 160 の島々があり、
 とうざい やく なんぼく やく ひろ うみ かこ した ちす
 東西に約 1,000km、南北に約 400km と広い海に囲まれています。また、下の地図のように、
 な は し ちゆうしん えん か な は おおさから おな きより
 那覇市を中心に円を描くと、那覇から、大阪府とほぼ同じ距離にフィリピンのマニラ、
 とうきょうと おな きより だいかんみんこく おきなわけん ちゆうけいち い ち
 東京都とほぼ同じ距離に大韓民国のソウルがあり、沖縄県はアジアの中継地の位置にあ
 ることがわかります。



3・4年生

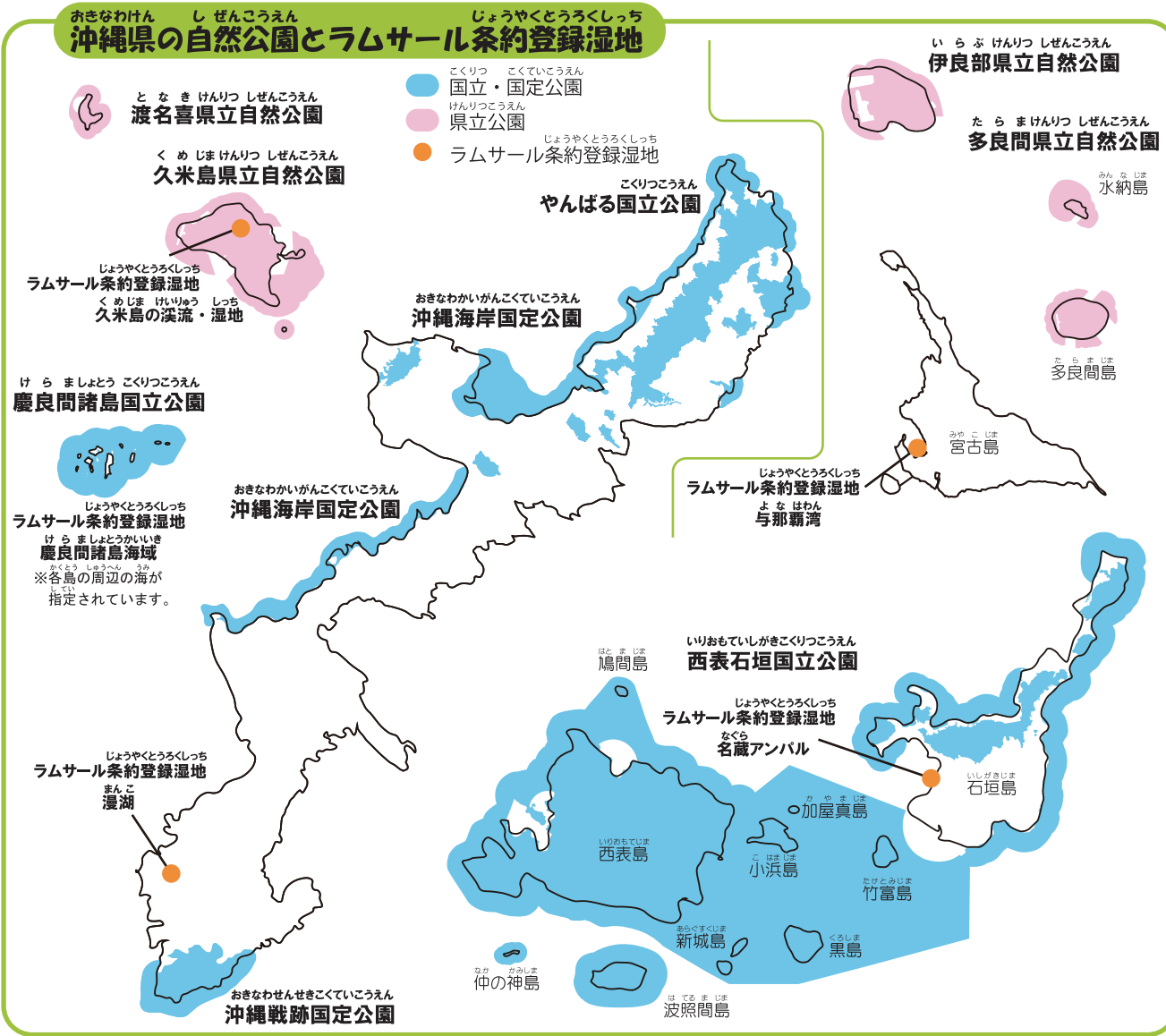
- 道徳** 自然愛・動植物愛護 / 公德心 / 生命尊重
- 特別活動** 遠足・集団宿泊的行事
- 理科** 季節と生物 / 身近な自然の観察 / 昆虫と植物

5・6年生

- 道徳** 自然愛・環境保全 / 生命尊重
- 特別活動** 遠足・集団宿泊的行事
- 理科** 生物と環境 / 土地のつくりと変化
- 社会** 森林資源の働き / 我が国の国土の自然などの様子

おきなわの自然にはどんな自然があるのだろう？

あねったいかいようせい きこう おきなわけん ねんへいきん きおん ど ねんへいきんこうすいりよう やく みり
 亜熱帯海洋性気候にある沖縄県の年平均気温は 23.1℃、年平均降水量は約 2,040mm で、
 ねん とお あたあ あめ おお ち いき おおむかし たいりく りくつつ じ だい うみ
 1 年を通して暖かく雨の多い地域です。また、大昔に大陸と陸続きだった時代があり、海
 しす りくち く かえ なが ねんげつ へ たよう しぜん はく しまじま のこ
 に沈んだり、陸地になったりを繰り返しながら、長い年月を経て、たくさんの島々が残り
 おんだん きこう しまじま な た おきなわけん ねんへいきん せきこう
 ました。この温暖な気候と島々の成り立ちから、多様な自然が育くまれました。また、沖
 なわけん しぜん ほ こ だいしやう おお うつく しぜん ふうけい まち しぜん ふ あ
 縄県には、自然保護の対象となるエリアが多く、美しい自然の風景を守り、自然に触れ合
 ば しぜんこうえん こくりつ こくたい けんりつ みずどり せいそくち じゅうよう しつ ち
 う場として 9 つの自然公園（国立、国定、県立）と、水鳥の生息地となる重要な湿地と
 じょうやくとうろくしつち してい さまざま き まち
 して 5 つのラムサール条約登録湿地が指定され、様々な決まりのもとで守られています。



参照：貴重な自然を守ろう 沖縄の自然（平成 28 年 3 月） 沖縄県環境部自然保護課

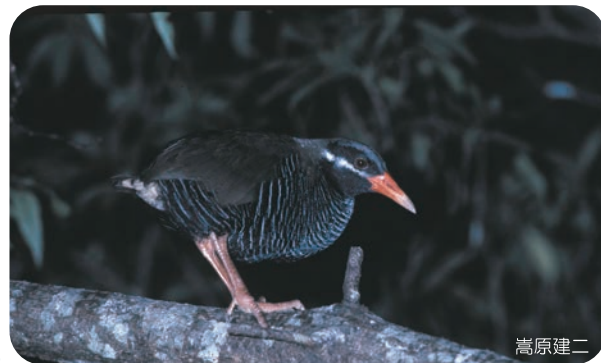
世界に誇れる沖縄の自然

自然の宝庫と呼ばれる沖縄県の中でも、特にめずらしい動物や植物が見られる地域が、やんばると呼ばれる沖縄本島北部と広大な森林に覆われた西表島です。それぞれの地域の特徴を持つ自然があり、その自然の重要性から、鹿児島県の奄美大島、徳之島とともに、この4つの地域が世界自然遺産の候補地として推薦されています。

奇跡の森やんばる

「山原」と書いてやんばると呼ばれる地域です。豊かな森を特徴とした沖縄本島北部一帯の地域をいい、もともと金武町や恩納村より北を指していましたが、現在では一般的に名護市より北を「やんばる」と呼んでいます。

やんばるの森は、亜熱帯照葉樹林と呼ばれ、世界的に数少ない森林生態系を持っています。この森には、たくさんの貴重な動物、植物が生息・生育しており、「奇跡の森」とも呼ばれています。哺乳類では、オキナワトゲネズミやケナガネズミ、鳥類ではヤンバルクイナやノグチゲラ、アカヒゲ、両生類ではナミエガエル、オキナワイシカワガエル、昆虫類ではヤンバルテナゴコガネなど、やんばるだけに住んでいる動物たちがたくさんいます。植物では、森の樹木の多くを占めているのがイタジイと呼ばれるドングリの木で、遠くから見るとブロッコリーのようなのです。この森が、貴重な生きものたちが暮らす場所となっているのです。



ヤンバルクイナ



ヤンバルテナゴコガネ



イタジイの山並み(上)とドングリ(右下)

日本最後の秘境 西表島

西表島は、亜熱帯の森林が島のほとんどを覆っており、手つかずの自然が残りの、人が立ち入ったことのないまだ知られていない秘境が広がっていることから、「日本最後の秘境」と呼ばれています。雨が多く川の数も多い水が豊かな島で、浦内川は沖縄県で最も長い18.8kmで、河口域にはマングローブ林が広がっています。特徴のある樹木として、古見のサキシマスオウノキは、根の一部が板のようになっている板根で有名です。

動物では、イリオモテヤマネコ、カンムリワシ、ヤエヤマセマルハコガメなど、八重山地域だけに住む動物が暮らしています。

また、石垣島と西表島の間には、日本最大のサンゴ礁がある石西礁湖があり、サンゴ礁生物の多様性も国内一とされています。この地域のサンゴ礁は2016年の大規模な白化現象の影響を受けましたが、少しずつ回復しています。



イリオモテヤマネコ



カンムリワシ



サキシマスオウノキ



サンゴ礁(石西礁湖)

わかるかな? ナンバーワン、オンリーワンの生きものたち

①ヤンバルクイナやノグチゲラは、(ア. 沖縄だけ イ. 全国)に住んでいる。

②ヨナグニサンは、日本で一番(ア. 小さい イ. 大きい)ガの仲間。

③オオゴマダラは、日本で一番(ア. 大きい イ. 小さい)チョウの仲間。

答えは25ページを見てね!